

3 参考 全国及び本県における麻疹の発生状況

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
全国	229	462	35	165	189	282※ ¹	-
愛知県	25	46	0	5	1	37	14※ ²

※1：平成30年12月30日時点（速報値） ※2：平成31年1月30日時点

本県における発生状況の詳細については、愛知県衛生研究所のWebページ（http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html）「本県における麻疹・風しん患者発生報告状況」に掲載しています。

【表面の施設を利用された皆様へ（注意喚起）】

○麻疹患者と接触した場合は、発病までの期間を考慮し、接触後最大21日間の健康観察が必要です。
○発熱、発疹等の症状から「麻疹」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡の上、速やかに受診してください。また、受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。心配なこと等ありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

※本情報提供は、感染症予防啓発のために行うものですので、報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。

また、「ヤナギ内海店」様につきましては、感染拡大防止のために施設名称の公表に御協力いただきました。店舗の通常運営に支障がないよう取材活動等について御配慮いただきますようお願いいたします。

○麻疹（はしか）について

主な症状	38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。その後、多くは7～10日で症状が回復します。 肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発生するとされています。
感染経路	空気感染※、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、感染する期間は、発症の1日前から解熱後3日頃までとされています。 免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。 ※麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下と言われています。
潜伏期間	約10日～12日間
治療法	特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。
予防方法	・麻疹は感染力が強く、手洗い、マスクのみで予防はできないため、麻疹の予防接種が最も有効です。海外渡航を計画している方、麻疹のワクチンを2回接種していない方等は、予防接種を検討することをお勧めします。 ・麻疹患者と接触した場合、接触後72時間以内であれば緊急ワクチン接種により発病を予防できる可能性があります。